

## 令和6年 2月吉野町教育委員会定例会議 会議録

日 時：令和6年2月22日（木）午後15時00分～ 場 所：町中央公民館4F

出席者：吉野町教育委員会 教育長 職務代理 委員3名

事務局 5名

### 1. 開会挨拶

### 2. 審議案件

議第1号 吉野町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正することについて【資料1】

質疑・応答なく全員一致で承認

議第2号 吉野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて【資料2】

質疑・応答なく全員一致で承認

議第3号 吉野町教育委員会公印規定の一部を改正することについて【資料3】

質疑・応答なく全員一致で承認

### 1. 報告案件

報第1号 令和5年度卒業卒園式、令和6年度入学入園式、こども園閉園開園式について

質疑・応答なし

【資料4】

報第2号 部活動の地域移行について

【資料5】

教育長： 本町は前向きに令和5年度当初から動いていた。本年度は奈良県下11市町村が事業に参加して、課題の洗い出しや、子どもたちへの影響等の実証研究を展開した。本町は課題があり動けなかったことも実証事業の結果である。奈良県は休日の部活動廃止を打ち出した。休日の公式戦は出張を認められるが、特業手当はなくすらしい。結果、先生方の手当が付かないので休日の部活動はしない方向。試合は休日に行われるので、試合に関しては出張を認める。練習試合に関しては振り替えを認めるかたち。最終的には地域移行を実現する必要がある。本町はスポーツクラブ、体育系の組織が充実している方である。本来はスポーツクラブが全面的に前に立って・・・というイメージをもっていたが、マンパワーの部分や考え方や目的の違いがあり、今年度試行錯誤した。来年度に向けて協議し対応を進めていく。

委員： 県の教育委員会からは中学校だけですか？高校は関係ないのですか？昔、子どもが野球部に入っており、下市・五條・十津川と一緒に下市で練習していた。学校に集合して、先生が車で連れて行って来ていた。土日に先生が外れると指導委員が連れて行くのか？先生は信用して安心していましたが、車は個室になるので・・・。

教育長： 合同チームに関わっては検討の余地がある。単独チームはやりやすいが、合同チームはそれぞれで進め方など協議をしないといけない。

委員： 子どもは指導員を知っているが、保護者は分からない人の車に乗せるのは怖い。

教育長： 頂いたご意見は検討します。

委員： 学校のクラブ活動は地域CSと関連する。方向が示されている。成功に導いて欲しい。町のスポーツクラブにすぐに乗っていくのかと思っていましたが、できていないと聞いた。組織対組織でいろいろあるのは想像するが、今の状況を聞きたい。

教育長： 実証事業なので、失敗や課題がある。スポーツクラブにお願いしようと思った

が、学校とスポーツクラブの考え方がなかなか折り合わない。また、スポーツクラブにとっても負担が大きい。我々も入った調整が必要である。考え方はいろいろあるので、調整には時間がかかる。奈良県は8年度に向けて強力に推進していくようだ。3カ年は準備を進める国の補助金もある。来年度には軌道に乗せたい。子どもの安全・安心は勿論、小学校の時と違って中学校になると専門化もするし、将来につながる大会もある。そのようなところを保証し、可能性を残せるような取り組みをしたい。いろいろな考え方のすり合わせをしていく。

委員： 初めの計画通り、8年度に向けてやっていくということですね。

教育長： スポーツクラブにだけ前面に立ってもらうのは難しいが、寧に協議し、なんとか協力をしながらという形をとっていきたい。子どもがやりたいことをやらせてあげられればいいのだが、先生方の数にも限りがあるので、出来るクラブも限られてくる。できるだけ良い形で丁寧に進めていきたい。進捗の様子はその都度報告していく。

**報第3号 吉野町子ども子育て会議について** **【資料6】**

**報第4号 令和5年度全国学力・学習状況調査について** **【資料7】**

教育長： 本町の子どもの特性や課題をあぶり出して、今後の指導に生かす取り組み。平均はあまり意識しない。個々の子どもの状況によって毎年変わる。それよりも、読解力の部分日本語の力をつけ、そのことから学力を伸ばしていく。取り組んでいるところだが、読解力を伸ばし、学力の底上げをする。

**報第5号 学校園運営協議会について** **【資料8】**

教育長： いろいろなこと、来年度のことも含めて教育委員の方々に理解していただくことみんなが理解できる。

委員： CSの説明会に参加し、お話を伺った。今日の補足も伺った。ある程度の方はわかっていた。前回の教育委員会の時に話を聞いて『承認』に引っかかったが、運営協議会が学校の組織に対して上から許可を与えるニュアンスを感じていたが、決してそうではない。OKからLet's みんなで助け合う。町の組織を地域の人たちが盛り上げていくことの実現が、今回の目的であることをはっきりとさせておくことが一番大事。学校の教育方針に協力することが大前提、誤解してはいけない。吉野町のコミュニティースクールはそうあって欲しい。地域の人協力をおしまない。やったことに対しての結果が、どのように子どもたちに現れているのかを地域の人にフィードバックしていくことは、この前の話では出ていなかった。気になるし地域の力になる。具体的に出して欲しい。

教育長： 承認に対する言葉を変えられないかという意見もあった。承認というと上から目線に感じるが、そうではないと誤解を解くことにエネルギーがいる。元々の発想はヨーロッパやアメリカにあり、訳して使っている。ローカルの言葉があっても良いと思うが、みんなで話し合うことを活発化することが大事。

#### 4. その他事項

臨時教育委員会の開催（さくら学園教職員の内示）令和6年3月12日（火）14:30～

次回3月の開催予定日の調整 令和6年3月14日（木）15:00～町中央公民館4F教育長室

#### 4. 閉会挨拶